

会報

2006. 1. 31

第 41 号

戦没船を記録する会

〒105-0014 東京都港区芝2-8-13 睦マンション206
Tel:03-3452-5085 FAX:03-3452-2711 郵便振替001606-719515
URL:www.ric.hi-ho.ne.jp/senbotusen/

目次

| | |
|--------------|---|
| 平和の語り部としての活動 | 1 |
| 新たな広がりを目指して | 2 |
| 本会ホームページトップ | 3 |
| 広島でのパネル展 | 4 |
| 広島展のパネル | 5 |
| 庶民にとっての構造改革 | 6 |
| 会計報告 | 6 |

2006 年を迎えて

平和の語り部としての活動を

会長 川島 裕

皆さま、厳しい寒さのなかに2006年を迎えました。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

「繰り返すまじ戦没船の悲劇」をモットウに当会が発足してから13年目を迎えました。

海の国が戦争を行う時、必然的に戦没船の悲劇を伴うという理は、過ぐる大戦において我が国が多大な犠牲を払って実証したところです。

私たちは、その犠牲が如何に大きなものであったかを示すために、在りし日の日本商船隊の遺影のアルフォトを作成するとともに、戦没船員慰霊のために必要な調査を行い、このことによって海の平和を希求するという事業を行ってきました。

具体的には、出来上がったアルフォトを展示する展示会を、全国各地で実施するとともに、他の団体の主催する平和展にも出展協力するという事業を展開してきました。

そして、2000年の8月15日には全日本海員組合の協力を得て、多くの戦没船員が母港として心の安らぎを覚えた、ミナト神戸に「戦没した船と海員の資料館」を開設することができました。

しかしながら、こうしてこの意義ある事業を起こし運営してきた、平和を愛する海の仲間たちも次第に高齢化してきました。この会を今後どうやって運営していくのかということが、避けて通ることが出来ない問題となってきました。

一方で、この国の政治の方向は、戦後60年間の平和の基本法であった日本国憲法を改定し、自衛隊

を国軍に、防衛庁を省に格上げして、自衛隊を堂々と海外へ派兵出来る体制造りの道を進んでいます。

この道は、昭和の初期に軍国日本がたどった亡国の道に酷似しているように思えてなりません。

戦争の惨禍や不幸を自ら体験した人々が高齢化し、社会の少数派となった今日、我々には、戦争の惨禍と罪悪性を説く「平和の語り部」としての存在価値と責任が増大したのではないかとも思われます。

今年は、このような重大な問題とも真剣に取り組み、前向きに話し合っていきたいと思えます。

皆さまの今年のご多幸をお祈り申し上げます。

第12年度第2回理事会開催告示

戦没船を記録する会会長 川島 裕

下記により第12年度第2回理事会を開催しますので、是非ご参加ください。

日時 2006年3月4日(土)14時より

場所 東京浜松町海員会館 第1会議室

(港区海岸1-4-9 JR浜松町駅下車)

TEL 03-3433-5688

議題 第13回定期総会について

- 1、第12年度活動報告
- 2、第12年度収支報告
- 3、第13年度活動方針
- 4、第13年度予算
- 5、その他

ホームページ開設 新たな広がりを目指して

本会ホームページを2005年12月8日に開設した。
このHPの目的は、次の点である。

- 1、戦没船・戦没船員の実体を広く社会に知ってもらうこと。
- 2、資料その他の公開を通じて、その社会的な活用を促進すること。
- 3、戦没船・戦没船員関係の資料提供を広く社会に求めること。

漕ぎ着けたHP開設

本会のホームページ（HP）の開設については、第10年度（2003年度）活動方針で「本会の作成した戦没船の写真や関連資料をデータベース化して、インターネットなどを通じて公開するための準備を進める」として、「準備」とはいえHP開設方向を打ち出したが、人財・財政面の問題もあり具体的な進展は見られなかった。

2004年後半に財政面での見通しが出てきたこと、およびHPの必要性のより一層の高まりから、12年度（2005年度）には「ホームページの開設」を活動方針として掲げ、実現に向けて具体的に取り組むこととなった。

HPに掲載するもののパソコン（PC）入力等の具体的準備に入る一方、HP自体のデザイン等も関係者の紹介で、本会に理解ある業者（人）の協力によりスムーズに進み、2005年12月8日開設に漕ぎ着けた。

必要な今後の努力

HPは全体的に極力カラー化し、大久保一郎画伯絵画「戦時徴用船の最期」の一部を画面に配するなど、戦没のイメージと共にきれいで見やすくなっており、「なかなかいいじゃないの」との好評も頂いている。

HPの実物を見ることができない会員もおられると思われる、

「戦没戦を記録する会HP構成表」を別掲するのでイメージ願いたい。ご子息やお孫さんのPCで実物を見て戴きたい。URL= www.ric.hi-ho.ne.jp/senbotusen/ または大手検索サイト・「戦没船を記録する会」で検索できる。

インターネット上には「HP」がごまんとあり、適切な更新と内容の工夫をしないと見てもらえないといわれている。HPは開設したが、相当の努力をしないと開設・維持している価値がなくなるかもしれない。何とか生かしてゆきたいもの、会員のご理解とご協力をお願いしたい。

なお、直接戦没船・員のことではないが、関係資料として作成・パソコン入力したものの内、有効と思われる物についてはHPに掲載したい、ご了承願う。

戦没船を記録する会HP構成表

戦没船を記録する会 — 設立・規約・活動
って何？

会 報 — No リスト — 第1・27・32～40各号全文(80頁)

戦没船写真 — 掲載予定

活 動 — 最近の活動
活動年表 — 10年史掲載分 + 最近分(10頁)

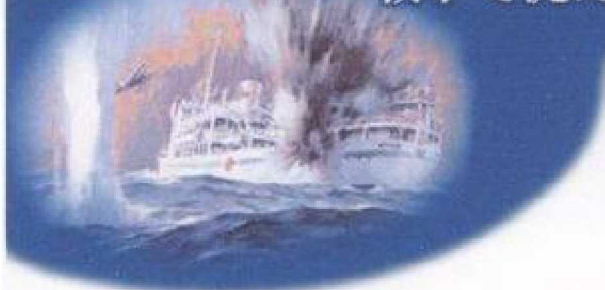
パネル展 — 広島展 — 広島県と戦没船員
— 広島県市郡別戦没船員数
— 船別多戦没船員数(広島県出身者)
— 辰羽丸受難の記録
— アルフォ写真：多戦没船員数順
(大日丸他27隻)

資 料 — 本籍地・所属別戦没船員数表
— 域別戦没船員数表・図
— 太平洋戦争時の喪失船舶明細表(53頁)
— 太平洋戦争による日本船舶被害

掲示板 — 掲示板 — 掲示板(交流ページ)

リンク — 戦没した船と海員の資料館
— 全日本海員組合
— 海上労働ネットワーク
— 佐藤研究室
— 硝煙の海
— 農林水産庁
— 国土交通省

戦没船を記録する会 戦争で沈んだ船と船員の記録を残そう



太平洋戦争で日本の船約15,000隻、船員60,331人が戦没したとされています。私達はこれらの戦没船・船員の記録を残そうと10年前から努力しております。ここに今までに得られた資料の一部を公表し、広く皆さまからの[資料提供](#)を願っております。

戦没船を記録する会 〒105-0014 東京都港区芝2-8-13 睦マンション206
TEL 03-3452-5085 FAX 03-3452-2711 E-mail: senbotu@ric.hi-ho.ne.jp

- 戦没船を記録する会って何?
- 会報
- 戦没船写真
- 活動
- パネル展
- 資料
- 掲示板
- リンク



「船尾楼に直撃弾を受けた輸送船」
(大久保一郎画伯「戦時徴用船の最後」より)

ニュース

ホームページ新設しました。
順次資料等を公表していきます。
資料その他についてご意見、ご連絡をお願いします。

更新履歴

[広島パネル展のアルフォト写真を追加](#)

ホームページ開設 2005年12月8日



ガダルカナル島に強行擱座した鬼怒川丸
(1950年頃)



リンクして下さる方はご一報下さい。パナールは一左のものをお使いください。

■大久保一郎画伯の絵の著作権は「商船三井」に帰属します。

海組大会でパネル展 船員の重要性アピールを

本会は2005年11月8～10日、海員組合大会と平行して開催された海上美術展会場（広島市国際会議場）において、パネル展を開催した。

今回は広島市での開催ということで、広島県に関する戦没船・船員に焦点を当て、次のパネルを作成・展示した。

- 1、広島県の戦没船員（*パネル新作、内容を別掲）
- 2、本籍地・所属別戦没船員数表
- 3、戦没船地点図
- 4、広島県市郡別戦没船員数（*）
- 5、船別多戦没船員数（広島県出身者）（*）
- 6、5の戦没船のアルフォト写真（27隻）
- 7、辰羽丸のアルフォト写真と同船の生存帰還祝賀
（注：広島市で開催）写真

関心高かった展示会

開催期間中は好天に恵まれ、海上美術展との同時開催もあり、組合大会参加者、海上美術展出展者とその家族、地域住民等300人以上の参観者があった。その多くが、船・船員関係者ということもあってかパネル展への関心も高く、立ち止まってよく見てくれたし、会話も弾んだ。

参観者からは、「広島県・わしらの地域でこんなにも多くの戦没船員が居たとは知らなかった。大変なことだったんだな」「日本は貿易立国、海上輸送の船・船員が大きな役割を果たしていること、船員は軍人以上の犠牲を強いられたことなどが、国民に知らされておらず正当な評価もされていない。もっとそのアピール運動をやれ」「私の夫も戦死した、原爆のことも含め戦争はこりごり、絶対にしてはいけない」等の話も伺った。この種展示会の有意義性を再認識させられるものであった。多くの犠牲、少ない記録

広島県の太平洋戦争における戦没船員は、鹿児島県について全国第2位で、全体の5.7%に達している。原爆の被害と共に大きな犠牲を強いられた。

更に特徴的なことは、陸軍徴用船での戦没者が県全体の60.8%（全国のそれは44.9%）と非常に多いことである。船別多戦没船員数でも上位は陸軍徴用船であることからそのことが窺われる。その要因は解明しきれていないが、広島は陸軍部隊の拠点があり、その出勤も激しく、それに伴う陸軍による徴用船も多く、犠牲者も多く出たことが推測される。

広島県内全域的に戦没船員が出ているが、大崎上島地区は204人に達しており、当時の世帯数からすると少なくとも20世帯に1人の犠牲者が出たと見られる。

一方、日本の昭和17年末の20総トン以上の機関を有する船舶は約1万8千隻であったが、その内広島県在籍の船舶は約780隻であり、都道府県平均350隻の2倍強であった。これら船舶の相当数が戦争に狩り出され、戦没したものと見られる。

これらは、地域にとっては大問題であったことであろうが、公表されているその市町村史には、「徴用船」「戦没船員」の記載が皆無に等しい（昭和14年以降、それらの記録は公表が禁止されていた模様である）。

展示会を機に、広島県内の公的な各市町村史を総当たりしてみたが、具体的記述は僅か4行しか目にする事ができなかった。多くの他都道府県においても同様傾向と危惧される。新たな資料収集については、より一層の工夫と努力が必要視される。

今回は遠隔地であったが、パネル展示会と広島県の戦没船・船員の記録収集を兼ね、篠原常任理事兼事務局長・栗原理事の2名が出張任務に当たった。

なお、今回の展示会開催に当たっては、海員組合より展示場所の提供始め多くのご協力を戴いたことに感謝している。



広島展のパネル

広島県の戦没船員

先の太平洋戦争で戦没した船員数は60,331人と記録されています。

その中で広島県の戦没船員数は3,427人で、鹿児島県(3,746人)に次いで多くの船員が戦没しています。また、これらの船員が乗り組んでいた船舶の数は数百隻に上りますが、大日丸1隻で34人の広島県船員が戦没するなど、5人以上の船員が戦没した船の数だけでも113隻あります。

これらの船の中には、昭和17年11月ガダルカナル島への第2次強行輸送作戦に参加し、11隻の船団中ガダルカナル島に到着できた4隻も含まれています。他の船は終日の空爆で沈没したり引き返しましたが、ガダルカナル島に到着した4隻も敵機の攻撃が激しくて揚荷が出来ず、軍は「海岸に擱座して強行揚陸をなせ」と命令し、護衛艦を引き上げさせました。各船は海岸に擱座して荷揚げを図ったが、空爆で破壊され炎上して積荷も失われました。島に取り残された乗組員

広島県市郡別戦没船員数

| 市郡名 | A | B | BC | C | 計 |
|-----|-------|-----|-----|----|-------|
| 広島市 | 430 | 36 | 103 | 0 | 569 |
| 呉市 | 82 | 27 | 37 | 1 | 147 |
| 尾道市 | 30 | 19 | 30 | 0 | 79 |
| 三原市 | 32 | 6 | 17 | 0 | 55 |
| 福山市 | 18 | 8 | 16 | 0 | 42 |
| 豊田郡 | 306 | 143 | 116 | 13 | 578 |
| 安芸郡 | 278 | 57 | 49 | 2 | 386 |
| 佐伯郡 | 211 | 55 | 57 | 2 | 325 |
| 御調郡 | 118 | 55 | 97 | 3 | 273 |
| 沼隈郡 | 152 | 44 | 35 | 2 | 233 |
| 賀茂郡 | 104 | 39 | 31 | 0 | 174 |
| 安佐郡 | 85 | 18 | 25 | 1 | 129 |
| 高田郡 | 50 | 13 | 21 | 0 | 84 |
| 山県郡 | 49 | 6 | 23 | 0 | 78 |
| 双三郡 | 40 | 10 | 16 | 1 | 67 |
| 比婆郡 | 20 | 12 | 13 | 0 | 45 |
| 芦品郡 | 18 | 10 | 12 | 0 | 40 |
| 深安郡 | 16 | 7 | 13 | 1 | 37 |
| 世羅郡 | 14 | 4 | 7 | 1 | 26 |
| 神石郡 | 10 | 4 | 9 | 2 | 25 |
| 甲奴郡 | 7 | 5 | 7 | 0 | 19 |
| 不明 | 13 | 1 | 2 | 0 | 16 |
| 合計 | 2,083 | 579 | 736 | 29 | 3,427 |

A=陸軍徴用船 B=海軍徴用船
 BC=陸軍配当船・海軍指定船 C=その他船舶
 注：1、「戦没船員名簿」((財)戦没船員の碑建立会作成)を元に「戦没船を記録する会」が作表した。
 2、市郡区分は太平洋戦争中の区分に準拠した。

は、戦闘と飢餓で多くがガダルカナル島の土と化し、4隻の乗組員267人中生還できたのは27人だけでした。このときの広島県戦没船員は、宏川丸17人、鬼怒川丸13人、山浦丸8人、山月丸2人でした。

戦没船を記録する会は、戦争で沈んだ多くの人々の慰霊と鎮魂の思いを込めて、自らの手でこの戦争を検証し、その記録を後世に伝えるために、戦没船員や戦没船に関する記録、資料を収集してきました。そして全日本海員組合の協力を得て、神戸の海員組合ビルに『戦没した船と海員の資料館』を開設し、私たちが集めた戦没船の写真や、数々の資料を永久展示することが出来ました。

私たちは、再び海を戦場にはならないという固い決意の下に、この資料館が恒久の平和と海上の安全のために、大いに役立ってほしいと願っています。

戦没船を記録する会

船別多戦没船員数(広島県出身者)

| 船名 | 戦没者数 | 徴用先(運行) | 船名 | 戦没者数 | 徴用先(運行) |
|---------|------|---------|--------|------|---------|
| 大日丸 | 34 | 陸軍 | 碧水丸 | 10 | 陸軍 |
| 摩耶山丸 | 30 | 〃 | 陽山丸 | 10 | 〃 |
| おはいお丸 | 24 | 〃 | 崑崙丸 | 9 | 臨時 |
| 鞍馬丸 | 24 | 〃 | 大洋丸 | 9 | 陸軍 |
| 建和丸 | 23 | 〃 | 帝雄丸 | 9 | 〃 |
| 福洋丸 | 20 | 〃 | 西豊丸 | 9 | 〃 |
| おれごん丸 | 19 | 〃 | はあぶる丸 | 9 | 〃 |
| 菱形丸 | 18 | 〃 | 阿波丸 | 8 | 臨時 |
| 赤城山丸 | 17 | 〃 | 白根山丸 | 8 | 陸軍 |
| 大井川丸 | 17 | 〃 | 多聞丸 | 8 | 〃 |
| 利根川丸 | 17 | 〃 | 帝海丸 | 8 | 〃 |
| 宏川丸 | 17 | 〃 | 帝洋丸 | 8 | 〃 |
| ふらんす丸 | 17 | 〃 | 日蓮丸 | 8 | 〃 |
| 富山丸 | 16 | 〃 | 東福丸 | 8 | 臨時 |
| 勝川丸 | 15 | 〃 | 山浦丸 | 8 | 陸軍 |
| 琴平丸 | 14 | 〃 | 海祥丸 | 7 | 〃 |
| 昭浦丸 | 14 | 〃 | おりんぴあ丸 | 7 | 〃 |
| 久川丸 | 14 | 〃 | 春日丸 | 7 | 〃 |
| もんとりゐる丸 | 14 | 〃 | 神州丸 | 7 | 〃 |
| 利山丸 | 14 | 〃 | 国陽丸 | 7 | 〃 |
| 鬼怒川丸 | 13 | 〃 | 志どにい丸 | 7 | 〃 |
| 神龍丸 | 12 | 〃 | 寿山丸 | 7 | 〃 |
| 辰昭丸 | 12 | 〃 | 大安丸 | 7 | 〃 |
| 鶴島丸 | 12 | 〃 | たまひめ丸 | 7 | 〃 |
| たかね丸 | 11 | 臨時 | 帝龍丸 | 7 | 〃 |
| 福山丸 | 11 | 陸軍 | 豊福丸 | 7 | 〃 |
| 安洋丸 | 10 | 臨時 | 日振丸 | 7 | 〃 |
| 玉津丸 | 10 | 陸軍 | 北海丸 | 7 | 〃 |
| 日錦丸 | 10 | 臨時 | 第2山水丸 | 7 | 〃 |

注：「戦没船員名簿」((財)戦没船員の碑建立会作成)を元に「戦没船を記録する会」が作表した。

庶民にとっての構造改革

昨年から続いてきたマンションの耐震強度偽装事件に続いて、証券取引法違反でライブドアの堀江社長が逮捕されるなどの事件が相次いでいる。それもこれも小泉流構造改革、規制緩和や民営化の結果であるが、成果だと誇るわけにもいかず、さすがの小泉さんも歯切れは悪い。さらに、すったもんだの挙句の米国産牛肉輸入再開も、危険部位混入が発覚して、わずか1ヶ月で再度輸入禁止に追い込まれた。日本の輸入条件が無視され、なめられているという外は無いが、怒りをあらわにするわけでもない小泉さんは、ほんとうに「ポチ」なのだと思った。

小泉首相は靖国神社参拝で中韓から批判され、外交でアジアの孤児になっているが、本人は心の問題をとにかく言われるのは理解できないといっている。大東亜戦争は自衛のための正義の戦争と賛美し戦犯を合祀した靖国神社に参拝して、侵略・植民地支配で多くの被害をこうむった人たちの心が理解できないようでは、解決できる望みはないようだ。

最近では構造改革の成果がいわれ、大企業は儲けを70兆円溜め込んだというが、国民には所得税や消費税、保険料・医療費等々値上げが目白押し、95年からの10年間に正社員が400万人減り、非正規雇用のパートや派遣社員が650万人増えて、貯蓄率ゼロの家庭が23%に、生活保護所帯が100万戸に増えるなど、小泉改革は庶民に痛みだけを押し付けていることがますます明確になっている。

その半面で戦後60年を経た今日、戦争する国へと改憲論が幅を利かせ、イラク派兵が延長され、米軍基地のある地方自治体の首長がこぞって反対するなかで、在日米軍の再編強化には米国の言いなりで、費用負担増強まで約束している。戦争で事態が解決しないことはアフガンやイラクで証明済みだが、それを正義と強弁するブッシュ大統領だけが頼りの小泉さんは、言われているように末期的状態なのかもしれない。戦争のおろかさ、戦争の悲惨さを社会に訴えていくのは、まだまだ大事なことであると思う。(S)

会計報告について

この会計報告は05年4月から05年12月間のものである。

一般会計で会費収入は例年3-4月に集中しているが、この年は正会員で3月24名、4月以降25名、賛助会員では11名-5名であり、この会計報告では4月以降の分のみ計上している。同様の方法で前年度と比べると正会員56名、賛助会員18名

である。事業収入は十年史の売上げである。

支出では、印刷費はコピー代、事業費はパネル展等の参加費・分担金、展示物や十年史の送料、事務所費は事務所使用料、雑費はいずれの支出科目に含まれないものである。

特別会計の支出では、資料収集費は資料提供者への謝礼、パソコン費の機材整備費はパソコンや付帯・関連機器の購入費、労務費はホームページ立上げの技術者の費用、データベース費の外注費は戦没船員名簿、船名録の入力作業の業者への支払い、労務費はデータ入力作業の協力者等への謝礼。旅費交通費はパネル展の交通費旅費宿泊費132,600円と、その他の協力者交通費雑費である。

前年度支出と合わせて特別資金は約半分が使われたが、今後、パソコン費の機材整備費やデータベース費の外注費のような、高額な費用を支出する予定は無い。(篠原)

戦没船を記録する会 収支報告書 (2005年4-12月)

戦没船を記録する会 特別会計収支計算書 (2005年4-12月)

| 科目 | 金額 |
|---------|-----------|
| 前月繰越金 | 5,313,190 |
| 資料収集費 | |
| 資料授受費 | 130,000 |
| 図書購入費 | |
| パソコン費 | |
| 機材整備費 | 239,692 |
| 労務費 | 120,000 |
| コピー費 | |
| データベース費 | |
| 外注費 | 992,919 |
| 労務費 | 353,740 |
| 展示会費 | |
| パネル費 | |
| 付帯費 | |
| 旅費交通費 | 360,360 |
| 通信費 | 2,990 |
| 文具費 | 10,070 |
| 雑費 | 10,259 |
| 支出計 | 2,220,030 |
| 翌月へ繰越 | 3,093,160 |
| 繰越金内訳 | |
| 現金 | 93,160 |
| 銀行預金 | 3,000,000 |

| 基本会計 科目 | 金額 |
|------------|---------|
| 前月より繰越 | 150,000 |
| 入会金 | 1,000 |
| その他 | |
| 合計 | 151,000 |

| 一般会計 科目 | 金額 |
|------------|---------|
| 前月より繰越 | 519,197 |
| 会費 | 150,000 |
| 賛助会費 | 20,000 |
| 寄付金 | 23,000 |
| 事業収入 | 20,000 |
| 雑収入 | 1,000 |
| 収入合計 | 733,197 |
| 通信費 | 18,870 |
| 会議費 | 12,000 |
| 印刷費 | 34,000 |
| 事業費 | 36,183 |
| 旅費交通費 | |
| 事務所費 | 180,000 |
| 消耗品・雑費 | 38,627 |
| 支出合計 | 319,680 |
| 次月に繰越 | 413,517 |
| 総計 | 733,197 |

| 繰越金内訳 基本会計 科目 | 金額 |
|---------------------|---------|
| 現金 | |
| 振替貯金 | 1,000 |
| 銀行預金(労) | 150,000 |
| 合計 | 151,000 |
| 一般会計 科目 | 金額 |
| 現金 | 36,189 |
| 振替貯金 | 251,015 |
| 銀行預金(み) | 126,313 |
| 合計 | 413,517 |